

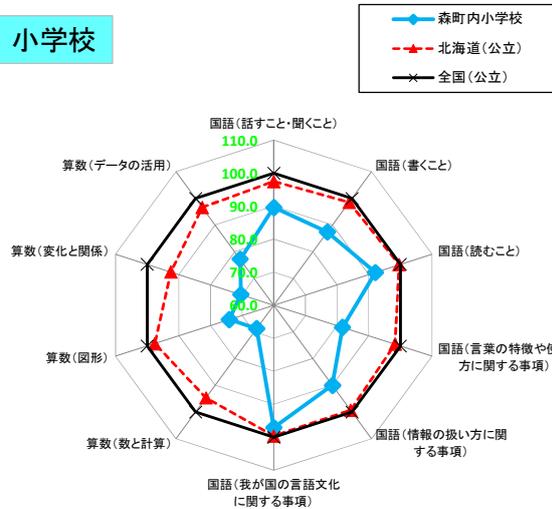
■森町内の状況及び学力向上策（小学校数:3校、児童数:87人）（中学校数:2校、生徒数:84人）

【教科全体の状況】

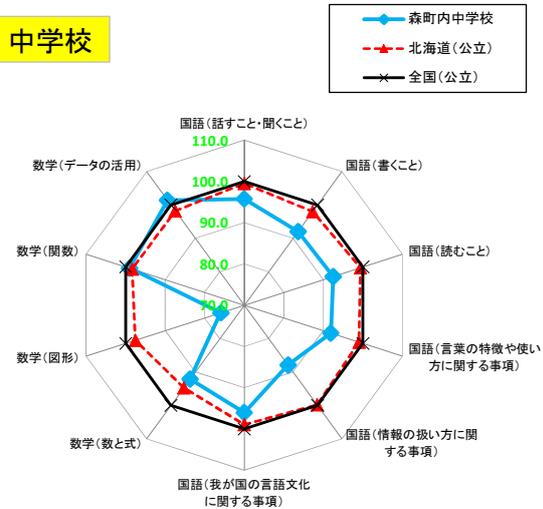
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの  
 （市町村の平均正答率÷全国（公立）の平均正答率×100で算出）

平均正答率	小学校	中学校
国語	60	54
算数・数学	46	50

小学校

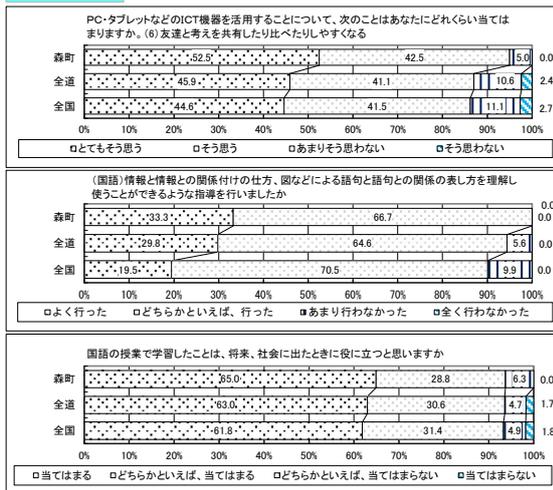


中学校

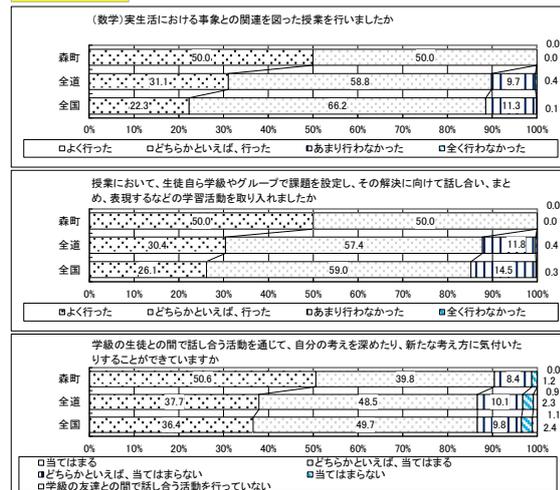


【質問調査の状況】

小学校



中学校



【上記結果の考えられる要因の分析】

**小学校**  
 ICTを活用した主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善に取り組んだことにより、学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することで、友達と考えを共有したり比べたりしやすくなると回答した児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。  
 国語の授業において、情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるような指導を行ったことにより、国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと回答した児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

**中学校**  
 数学の授業において、実生活における事象との関連を図った授業を行ったことにより、数学科の「データの活用」の平均正答率が全国及び全道を上回ったと考えられる。  
 授業において、生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れたことにより、学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすると回答した生徒の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

【森町の学力向上策】

- ◎ 小・中9年間を通した教育課程の編成と指導の充実
- ◎ 小・中学校教員による相互乗り入れ授業や小学生と中学生の交流学習等の充実
- ◎ 英語教育推進協議会を中心とした、乗り入れ授業や指導方法の工夫、改善等の一貫した指導体制の推進
- ◎ ICTを活用した主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善